



今年もYouTubeで生配信!! 第80回 定期大会

第80回定期大会は2025年3月8日（土曜）に、本年度は会場を東部管理センター（2階職員控室）に変更し、冷え込む寒さが厳しい朝となりましたが、予定通り午前9時より開会されました。

例年同様に YouTube 配信*等を活用しながら、代議員総数29名（出席：26名）の方々に貴重な休日にも関わらず、御協力を頂く形で「通常開催」にて執り行われました。

* YouTube 配信は「市従労組合員」および「関係団体」等の希望者のみ限定配信。

2024年度一般経過報告ならびに2025年度運動方針・会計(決算)報告等について、執行部より詳細な説明ならびに提案等をさせて頂き、質疑を交えて真摯な討議によって大会は進行され、決定した方針に基づき今後の活動に繋げていきたいと考えています。

なお、今年度も来賓等は一切招かず「祝辞(祝電)等の紹介」だけとさせて頂きました。

議長団選出では、中村 宏一 代議員に議長を務めて頂き、我々の職場環境・生活改善のための向こう1年間の運動方針を決定する『第80回』を数える、大きな節目の大変重要な大会の舵取りを担って頂きました。



松本委員長からは「昭和100年（戦後80年）」を迎え、生活改善・職場環境改善に尽力して来られた偉大なる諸先輩方が築き上げられて来た『80年』を振り返り、賃金を見れば独自7級制・最高到達44万円・退職金（60ヶ月：3千万円）だった時代もあり、当時の職員数も約270名（30年前）、現在は職員数も126名に減り、12年間にわたる退職者不補充が経過し、自治体直営清掃職場も石川県で「金沢市」だけとなっている。

市当局側は、如何なる災害等に直面しても『直営』の利便性・重要性には耳を傾ける事はなく、賃金抑制（賃金削減）にだけ着目し続けるだけで、不都合な状況を改善しない、差別に立ち向かうべき事こそが、80回を迎えた我々の闘いでもあります。

今年7月に行われる「参議院選挙」における「岸 まきこ 当選」こそが、仕事の改善・賃金の改善を実現できる近道であると捉え、比例投票用紙には「岸 まきこ と書く!!」取り組みに全力を尽くす。震災が起きた石川県で獲得する「票」の重さ（重大さ）を自治労に結集する仲間達の総意として、圧倒的多数の票による発言力は国（政治）を動かす事へと繋がり、我々に対する当局側の『差別的攻撃』にも立ち向かう力へと変わることは間違いありませんと強く語った。

第80回を迎えた定期大会は「金沢市従業員労働組合」に結集した仲間達の輝かしい歴史!!

重要 Point 通過点である第80回大会~今こそ団結で底力を!!~



坂下 書記長 今後の展望を語る!!
挙手による賛成多数により可決!!
山下 会計委員 一般・特別会計報告!!

坂下 書記長からは、2024年度一般経過報告ならびに2025年度運動方針等について、詳細をひとつ一つ丁寧に紐解いて行く中で、人事院勧告における4月からの再任用職員の住居手当および家族の看護休暇取得についても証明書等の提示不要であったり、子供の入学式・卒業式への対応も認め「取得要件の緩和」も周知されました。

2025年度運動方針に関しては、民間給与（初任給基準：約30～35万円）引上げ等によるものが目立つ反面で、地震・豪雨災害等を含む自然災害で多くの被害に見舞われた我々の様な被災地はのみならず、全国の公務職場等での人気（人材確保）には陰りが見え始めています。

また、民間給与*が高いために起こる『賃金確保』の徹底を方針に掲げていくことは勿論、現在、東・西環境エネルギーセンターに関しても、中長期的な具体策に関しての協議を行ない、人員（人材）確保に向けた取り組みに関しても「民間委託」も含めた、これからの班体制および業務内容等の検討を行ない、ワーキング等を開催して「持続可能なエネルギーセンターの稼働体制」の確保（確立）することが最も重要であり、組合と十分な議論を重ねる必要があると述べました。



山本 代議員から今後の組合に!!
休日の貴重な時間に感謝申し上げます!!
今年度もYouTube配信!!

山本 義和代議員からの質問（意見）が出され、現状心配なのは「人が増えない」組合にとって賃金（給与）も勿論大事だが、やっぱり心配。1人でも2人でも人が入って来ない先（将来）が続いて行かない現実がある。危機感をもう少し組合員全体に伝わるように啓発運動等も含めて、今後どうして行くのか？を具体的に示して頂きたい。

これに対しての組合答弁では、人（結集）運動が流行（トレンド）なのかは分かりませんが、エネルギーセンターの委託問題等にしても、組合が職場単位としても『決断』となれば「苦渋の選択」となり、現状の

“人が入って来ない”環境で、例え無理をして（7班→6班集体制で）働いて頑張っても、単なる一時凌ぎで2～3年後を考えても、引き延ばしただけの「我慢」となるだけで、それよりは『今の働き方をベース（基準）』に委託をされるほうがマシなのでは……人員確保闘争等をしっかりとやりながら、議会（議員）を動かさない限りは現状を打破することは出来ません。

今後、エネルギーセンターに関しては「視察研修」を取り入れ、類似自治体の現状（働き方）を踏まえて、ワーキング等を活かしながら、今年度予算を大いに活用して『勉強』をする機会を組合役員以外でも学んで頂きたいと考えています…と締め括りました。

最後に、我々を取り巻く環境（状況）は更に厳しさを増していくことが確実ですが、今後とも組合執行部と組合員が一丸となって90回・100回と『組合運動が力強く』展開していくことを願うばかりです。

参加された代議員の皆さまには心より感謝を申し上げます。

今後も様々な「角度」から議論して、具体化しながら「皆んな」で共に実践して行きましょう!!